

国語

(1～16ページ)

注意

- 1 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
- 3 受験番号は、下記の「受験番号欄記入例」に従って正確にマークしてください。
- 4 解答用紙にはマーク式解答欄の番号が **1** ～ **75** までありますが、使用しない解答欄も含まれています。
- 5 試験時間は **六〇分** です。
- 6 試験開始後、問題用紙に不備(ページのふぞろい・印刷不鮮明など)があったら申し出てください。
- 7 中途退出は認めません。試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

解答用紙の受験番号欄記入例

受験番号欄				
1	2	5	9	6
0	0	0	0	0
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	8
9	9	9	9	9

数字の位置に注意してマークしてください

マーク式解答欄記入上の注意

1. 解答は、HBの黒鉛筆を使用して丁寧にマークしてください。
《マーク例》
良い例 
悪い例 
2. 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで、きれいにマークを消し取ってください。
3. 所定の記入欄以外には、何も記入してはいけません。
4. 解答用紙を汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

I 次の問いに答えなさい。

問一 傍線部の漢字の読みとして正しいものを、次の各群の①～④の中から

それぞれ一つずつ選びなさい。

1 社会の安寧を保つ。

- ① あんおん ② あんてい
③ あんしん ④ あんねい

2 仏教に帰依する。

- ① きえ ② きか
③ きい ④ きと

3 老舗のケーキを味わう。

- ① てだれ ② しにせ
③ めいてん ④ ほんぽ

問二 傍線部の語句の意味として最も適切なものを、次の各群の①～④の

中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

4 あてつけがましい言い方をされてむっとする。

- ① お世辞めいた
② 謎めいた
③ 皮肉めいた
④ 親切めいた

5 しのぎを削る闘いを勝ち抜いた。

- ① 退屈な
② はげしく争う
③ 技を磨く
④ 生活に苦しむ

6 今となつてはあらずもがなと思う。

- ① ないほうがよい
② ないのと同じだ
③ ありそうにない
④ いうまでもない

Ⅱ 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

セクハラ（セクシュアル・ハラスメント）のない職場環境を整える責任が企業にあることを明確にしたのが、一九九六年にアメリカ・イリノイ州の米国三菱自動車^①に対して行われたセクハラ集団訴訟だ。アメリカの連邦雇用機会均等委員会が、米国三菱の自動車工場でセクハラが蔓延^{まんえん}していると訴えたのだ。被害者が多数だったため、三菱自動車は和解のために三四〇〇万ドル（約四九億円）を支払った。その他にも、アメリカにあるいくつかの日本企業がセクハラ訴訟で訴えられ、多額の和解金を支払った。

そのため、企業の中には、セクハラへの対応を危機管理のひとつと認識したところもあった。訴えられたら多額の賠償金を支払わなければならないので、そのような「危機」に陥らないようにしておかなければならないという発想だ。企業を守るために、「セクハラ」の明確な定義や必要な施策が求められた。一方で、多くの被害者や支援者が勇気を振り絞って声を挙げたため、セクハラは危機管理ではなく、^③人権問題であるという理解も徐々に広がっていった。「セクハラ」を「危機管理」と理解するのか、「人権問題」と理解するのかという意味の闘争が見られる。

これら双方からの要望もあり、政府は雇用側にセクシュアル・ハラスメントを防止する義務があるとする法改正を行った。一九九八年に男女雇用機会均等法が改正された時には、セクハラを防止するために、「事業主に雇用管理上の配慮義務」が規定された。この「事業主」には、会社や学校、スポーツ団体や宗教団体を含む、人を雇っているすべての機関が含まれる。

また、二〇〇六年には、「セクシュアルハラスメント防止のために事業主に雇用管理上必要な措置を講ずること」が義務付けられた。事業主は、セク

ハラに対する研修を実施し、相談窓口を設け、セクハラに適切に対処しなければならぬ。この段階に至り、セクハラが、労働者に「不利益」を与え、その就労環境を「害する」「性的な言動」だと規定された。

このように見てくると、私たちが当たり前のように使っている「セクハラ」ということばを大切にしなければと思う。「セクハラ」が日本社会に普及する過程には、多くの横やりや困難があった。けれども、たくさんの人たちが献身的に努力して、このことばのあるべき意味を守ったのだ。

哲学者のミシェル・フーコーは、^②言説とは「言説によって語られる諸対象を体系的に形成し編制する実践」であると指摘している。つまり、言説（ことばで語ること）によって、ある現象が社会的に重要な概念になる。「セクハラ」の場合も、多くの人がこのことばの重要性について語り続けることで、社会に受け入れられていったのだ。

しかし、残念ながら、「セクハラ」ということばが普及したからといって、セクハラがなくなったわけではない。では、「セクハラ」は何を変えたのか。ことばは、社会の何を変えられることができるのか。

それは、^④ものごとを理解する新しい考え方を提案することで、社会を変えらるという方法だ。「セクハラ」によってもたらされた最も重要な変化は、職場の人間関係を理解する新しい X したことだ。何よりも、「セクハラ」の「権力関係を利用した性的な嫌がらせ」という意味は、「職場の権力関係」の概念を大きく変えた。

それまでの職場は、部下が上司の指示に従うことで回っていた。しかし、「セクハラ」は、たとえ上司でも、性的嫌がらせのような、部下の人権を侵害する行為は許されぬことを明確にした。つまり、「上司はその権力を利用して部下に嫌がらせをすることはできない」という考え方が共有されたのだ。

このように、新しいことばは、直接社会を変えるのではなく、新しい考え方を提案することで **Y** 的に社会を変えていく。この「新しいことば」↓「新しい考え方」↓「社会変化」という仕組みを受け入れると、ことばの重要性が見えてくる。

「セクハラ」が職場の権力関係を理解する新しい **X** したことは、「セクハラ」に続いて使われるようになったのが、「アカハラ（アカデミック・ハラスメント）」や「パワハラ（パワー・ハラスメント）」という、同じように（権力関係を利用した嫌がらせ）を指すことばであることから明らかだ。「アカハラ」は、学校や大学で、教師や教授がその権力を利用して生徒や学生に嫌がらせをすることを指す。「パワハラ」は、すべての「パワー（権力）」に基づく嫌がらせを指し、概念的には「セクハラ」と「アカハラ」も「パワハラ」に含まれる。

これらのことばが生まれた背景には、「セクハラ」がもたらした新しい視点がある。人々が、「セクハラ」の（権力関係を利用した嫌がらせ）という視点から人間関係を見直した結果、性的嫌がらせに限らない、さまざまな嫌がらせが見えてきたのだ。

なかでも「パワハラ」の出現は、私たちのハラスメントに対する姿勢に大きな変革をもたらした。^⑤ 誰もが加害者として糾弾される可能性だ。これまで、権力のある人が問題視され、権力者でない人は加害者になると思われるいなかった。^⑥ しかし、権力は、特定の人が所有しているのではなく、時と場合に応じて、いろいろな人間関係のなかに遍在している。（中略）

新しいことばが新しい理解をもたらすのならば、古いことばをそのまま使い続けることは、物事を見る視点を古いままにしておくことになる。

たとえば、女性社員を「女の子」と呼ぶ職場があった。女性たちは、「女

の子」は子どもを指すことばなので「女の子と呼ばないでほしい」と要望した。^⑦ それに対して、「ことばは記号だ。ことばを変えても、女性社員の給料が上がるわけじゃない」という反論が出た。現在でも女性の給料は男性の七割しかない。この反論の前提には、ことばを変えることを、直接「昇給」という「社会変化」に結びつける考え方がある。

しかし、先に見た「ことばを変えることは、物事を理解する別の視点をもたらすという形で、**Y** 的に社会変化をもたらす」という考え方に従えば、違う解釈ができる。

大人の女性社員を「女の子」と呼ぶことは、その職場に、「女性は（子どものように）半人前だ」という考え方を共有させる。半人前ならば、給料が男性より少なくとも仕方がないという風潮になるかもしれない。一方、「〇さん」と男性と同じように呼び始めれば、女性も一人前の仕事をしているという理解が生まれる。その結果、女性の給料が男性より低いことに疑問を持つ人が出るかもしれない。何より、社員としてのプライドは大違いだ。

「セクハラ」ということばがなくても、これらの社会変化が可能になったのか、それは分からない。しかし、「セクハラ」が社会変化をうながす原動力になったことは否定できない。

「セクハラ」の例で見たように、新しい「ことば」によって新しい視点が共有されると、その視点を反映した法律が制定されることがある。

たとえば、「ストーカー」ということばは、個人や団体に対する執拗なつきまといが殺人にまで至る可能性を明確にし、ストーカー行為などを規制する法律の成立に結びついた。また、「DV」や「デートDV（デート中の暴力）」ということばは、配偶者や恋人からの暴力を防止し、被害者を保護する法律の成立をうながした。

⑧ これらのことばがもたらしたのは、「公／私」の区別を崩す視点だ。それまで、「恋愛」や「夫婦関係」は、公権力が介入すべきでない私的領域だとみなされていた。夫に肋骨を折られた妻が警察に通報しても、「夫婦げんか」だと言われ、警察は夫を拘束しなかった。しかし「DV」や「デートDV」ということばは、たとえ私的な空間や関係においても、暴力は犯罪であることを明らかにしたのだ。

これまで見てきた新しいことばに、カタカナが多いのは、それが国外からもたらされたことばだからだ。「セクハラ」の場合も、アメリカのハンドブックや訴訟が、このことばの普及に影響を与えた。これは、カタカナで国外の視点を導入する方法が有効であることを示している。当たり前になつてしまっている、「これが日本の、この地域の、この会社のやり方だから」という視点をカラッと転換させるには、カタカナ語が向いている。「伝統」や「習慣」も、広い視野から見直していく必要があるのだろう。

（中村桃子『ことばが変われば社会が変わる』原文一部改変）

注 ミシェル・フーコー——一九二六～一九八四年。フランスの哲学者。

問一 傍線部①「明確に」の「に」と同じ文法的性質のものはどれか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- 7
- ① 次第に上達する。
 - ② 積極的に声をかける。
 - ③ 同時に席を立った。
 - ④ 気分を変えるために散歩する。

問二 傍線部②「セクハラ」の明確な定義や必要な施策が求められた」とはどのようなことか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- 8
- ① 管理体制の不備を指摘されて、多額の賠償金を支払うことがないように、企業はセクハラへの対応策を練る必要があったということ。
 - ② 政府は、アメリカの連邦雇用機会均等委員会から訴えられた日本企業を守るために、施策を講じる必要があったということ。
 - ③ セクハラが蔓延した会社や学校には、労働者の職場環境を整えるために、雇用管理上の配慮を義務づける必要があったということ。
 - ④ 日本企業は、被害者に多額の賠償金を支払って経営危機に陥らないように、資金繰りを考えておく必要があったということ。

問三 傍線部③「人権問題であるという理解も徐々に広がっていった」のはなぜか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

9

- ① セクハラは、社会構造の問題ではなく、当事者同士の人権をめぐる争いだという意味づけられたから。
- ② 法律の条文で、労働者の権利を剥奪する行為としてセクハラということばが規定されたから。
- ③ 多くの被害者や支援者が、セクハラを、被害者の人権を侵害する暴力として訴え続けたから。
- ④ セクハラの実義が明確になり、企業が危機管理ではなく人権問題として扱うようになったから。

問四 傍線部④「ものごとを理解する新しい考え方」とあるが、セクハラによってもたらされた「新しい考え方」とはどのようなものか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

10

- ① 従来権力関係を利用した人権侵害とみなされてきたセクハラを、被害者の問題へと責任転嫁する考え方。
- ② それまで問題視されなかった上司からの性的な言動を、権力関係を利用した嫌がらせと認識し直す考え方。
- ③ それまで絶対に従わなければならなかった職場での上司からの指示を、越権行為としてとらえ直す考え方。
- ④ 従来裁判でしか使用されなかったセクハラという概念を、職場で起こる日常の問題に援用する考え方。

問五 空欄 X (二か所) に入る表現として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

11

- ① 制度に転換
- ② 体系を否定
- ③ 理念を理想化
- ④ 枠組みを提供

問六 空欄 Y (二か所) に入る表現として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

12

- ① 圧倒
- ② 一元
- ③ 意図
- ④ 間接

問七 傍線部⑤「誰もが加害者として糾弾される可能性」があるのはなぜか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

13

- ① 綿密に考えれば全ての人が必ずハラスメントをしているから。
- ② 暴力はさらなる弱者に向かって連鎖していくから。
- ③ 権力がない者が別の文脈では権力者になるかもしれないから。
- ④ 職場の流動的な関係では支配・被支配が容易に覆るから。

問八

傍線部⑥「いろいろな人間関係のなかに遍在している」とは、ここではどのような意味か。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

14

- ① 世の中にかたよって存在している
- ② 世界中にちらばっている
- ③ 世間をあてもなく漂っている
- ④ 社会のあちこちにみられる

問九

傍線部⑦「「女の子」と呼ばないでほしい」と要望した」とあるが、女性社員を女の子と呼ぶしないことの意義を筆者はどのように考えているか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

15

- ① 「女の子」という呼び方をやめれば、女性も一人前の社員だという認識が生まれる。そうなれば、女性の給料が男性の七割しかないことが問題視される可能性がある。
- ② 「女の子」と呼ぶのをやめて個人の名前を呼べば、社員としてのプライドが回復される。その結果、女性にも能力に応じた給料が与えられるべきだという意見が出る可能性がある。
- ③ 「女の子」という呼び方をせずに各自の名前を呼べば、女性社員も一人前の給料を与えられるようになる。そうなれば、社会における女性の立場が見直される可能性がある。
- ④ 「女の子」という古いことばの使用をやめることで、社員の中で新しい考えが共有される。その結果、「女の子」ということばが意味する内容も変化する可能性がある。

問十

傍線部⑧「これらのことばがもたらした」ことの説明として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

16

- ① 配偶者や恋人からの暴力は私的な問題ではなく、政治的に引き起こされた事柄として公私の区別がなくなったこと。
- ② 公的問題と私的問題の境界を明確にして、夫などから暴力を受けた女性を警察が保護するようになったこと。
- ③ 私的な関係においても公権力が介入して、配偶者や恋人への暴力を犯罪としてとらえるようになったこと。
- ④ 夫婦間の問題が、警察等の公的機関が介入できる例外的・特例的な私的領域と見なされるようになったこと。

問十一 問題文の内容と合致するものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

17

- ① セクハラということばによって人々の意識が変化したように、ことは社会と密接に関係しており、社会の変化に伴ってことばも変化していく。
- ② 新しいことばは、アカハラのようにほかのことばと結びついて異なる意味を与えられたり、DVのように意味が反転されて社会に広がっていく場合がある。
- ③ 広い視点から日本の伝統や習慣を見直したことが、カタカナ語の導入につながったように、ことばと社会はお互いに影響を与え合って一緒に変化している。
- ④ ことばは、単に社会の変化を反映しているのではなく、ある現象がことばで語られることによって、それが社会的に重要な概念になることがある。

Ⅲ 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

明治開国以来、日本人は自然観の二重性（概念的並存）を無視し、仕事上のタテマエは洋風を従順にとりいれ、ホンネの心情は和風をなるべく保つという生活習慣を身につけた。

A

、この和魂洋才には、かならずしも万人が納得するとは限らない。あちこちで綻びや亀裂も走るし、二重性解消の希望も現れる。（中略）

（和魂洋才という二重性の解消をめざす）典型例は、いま注目を集めている「A I俳句」、

B

A Iに句作をやらせようという試みである。

コンピューターに芸術的創造ができるか、という問いかけは昔からなされてきた。^{注1}超人間主義者はむろん肯定的に答えるだろう。私がスタンフォード大学にいた四十年あまり前、A I研究者によるコンピューター音楽会もひらかれた（まったく感動しなかったが）。音・画像・文字列などはコンピューターにとってすべてデジタル記号のパターンであり、二〇一〇年代に実用化された深層学習技術はパターンの分類や生成が得意だから、現行A Iに芸術的創造をやらせるという機運が盛り上がっているのも無理はない。

A Iがすべて自力で小説のような長大な文章をつくるのはなかなか難しいが、短い文章ならなんとかなる、といった意見をのべる研究者もいる。事実、^{注2}チャットGPTは割合に長い文章を作成しているのだ。十七字くらいの俳句なら大丈夫だろう、ということになる。俳句は身近な生活感を詠む国民的な芸術活動だから、^①和魂洋才の溝を解消する試みとしてA I俳句を位置づけること自体は不思議ではない。とはいえ、たとえA Iが、表面上は俳句の形をした単語列をどんどん出力したとして、それは真の芸術作品、^②ホンモノの詩だと言えるのだろうか？

A I俳句の試みはいろいろなされている。なかでもよく知られているのは、北海道大学と協力諸団体による研究プロジェクト「一茶くん」だ。これは、小林一茶、正岡子規、高浜虚子などの作品を集めたデータベースをA Iが学習し、画像と文字列が結びつけられたマッチングデータをもとに、A Iが画像の情景に応じた俳句をつくるのである。深層学習技術が駆使され、ちゃんと季語や切れ字も勘案した処理を行う。なかなか上手で、「感心した」という感想も聞いたことがある。ただし基本的に「一茶くん」が実行しているのは、データを統計処理して、確率計算をもとに単語を並べることだけ。単語のもつイメージとは無縁なのだから、はたしてそれを句作と呼べるかどうかには強い疑問符がつく。

問題は、A I俳句のような実験によって、日本の自然観と西洋の自然観とを架橋できるのか、ということだ。詩人の大岡信は、すでに半世紀ほど前、この点について「理性は、自然的な存在であるところの人間のうちに働く偉大な反自然の力である」という鋭い指摘をしている。

C

、理性の意義を認めつつも、生きた肉体（身体）から遊離した言葉による呪縛を警告するのだ。ここで大岡のいう「自然」とは、人間をつつむ包括的自然であり、^{注3}デカルトの提示した幾何学的宇宙世界のことではない。人間の理性的な能力を自動化した形式論理処理機械がコンピューターだから、生きた肉体の経験やイメージと結びつかないその出力は詩的作品ではない、という否定的見解が出てくるだろう。

対照的に大岡が着目するのは宮沢賢治の作品である。描き出されるのは有名な「イーハトーヴォ」という不思議な世界。そこは岩手県でありながら、草木や生き物がそれぞれ、賢治の肉体と想像力をつうじた「命名」によって変貌し、イーハトーヴォというあらたな世界で実在性を獲得する。この命名

こそ、生き物の真のコミュニケーションをつかさどる「原言語」ではないのか。

賢治の作品「なめとこ山の熊」^{注4}で、熊捕り名人小十郎の耳に突然聞こえてくる熊の母子の対話——まさに、そういう原言語のありさまを、肉体に湧き上がるイメージをもって具体的に語るのが「詩」なのだ。言語芸術の可能性は、「『命名』という、言葉のもつとも初源的な機能を、今日いかに回復し、かつ充実した力と、恍惚^{こうこつ}をともなった心のふるえをもってなしとげうるか、にかかっている」と大岡は断言する。

俳句を詠むとは、本来、^④そういう命名行為のはずだ。まさしくヴァレラが言ったように、「身体行為から心と世界が産出される」のである。とすれば、過去の偉い俳人が詠んだ文字列をデータとして機械的に情報処理し、その出力を「俳句」と称するなど、愚行でなければいったい何なのか……。 (中略)

では、AIを中心とするデジタル化によって、われわれはどこへ向かおうとしているのだろうか。

コンピュータ技術が米国中心に開花したのは二十世紀半ばだったが、日本はうまくこれを取りいれ、一九八〇年代まで、この国のデジタル化はひとまず上首尾だったといつて過言ではない。メインフレームとよばれる非常に高価な大型汎用コンピュータを所有できたのは政府や大企業ばかりで、アクセスして操作するユーザーもプロだけだったが、独創性はともかく性能や信頼性において、日本の技術レベルは米国に肩を並べるほど高かった。このことは、銀行オンライン・システムや大規模オペレーティング・システムなど、メインフレーム・システムの研究開発を現場で眺めてきた私の実感である。和魂洋才の成功例と言えるだろう。だが現在はどうだろうか。

二〇二二年の世界デジタル競争力ランキングにおいて、日本は六十三カ国

(地域) 中で第二十九位、欧米はもちろんアジア諸国にも劣っている。二十世紀のいま、日本がデジタル後進国だという国際評価はもはや定着した感があるのだ。それでこの国の産官学リーダーたちは躍起になってDX^{注7}の旗をふっているのだが、どうも私には、彼らが^⑤本当の原因を見抜いていないという気がしてならない。

日本のデジタル化が進まない最大の原因は、技術者の能力が低いからではなく、開発側と発注側の意思疎通が悪いからでもない。この国の伝統的な社会的・文化的な価値観が、現在のオープンなインターネットの価値観と食い違っているからなのだ。

かつて日本のメインフレーム・システムが優秀だったのは、それがプロしかアクセスできないクローズドなデジタル・システムだったからである。チームメンバーによる開発保守作業とは、いわば村落で品質の良いコメを作る協同作業のようなもの。そこには膨大な試行テストと努力、そして細かい工夫が積み重ねられている。当然、システムの開発には時間もコストもかかるが、品質は優れており、たやすく障害が起きることはない。

一方、現在のインターネットはオープンで、誰もがアクセスでき、アプリは多少間違いがあっても、安く、早く売り出す方が勝ちだ。間違いはユーザーが皆で使いながら修正していけばよいという、米国流のボトムアップの考え方がそこにはある。これは、「トップダウンのお上の指令には忠実に従うが、その内容は精確できちんとしてほしい」という日本人の生活意識と根本的に食い違う。

D、DXと呼ばれる現在のデジタル化は、従来のコンピュータ化とは性格がまったく違うのだ。それは一般人の社会・経済の細部の仕組みに浸透し、生活意識まで変えてしまう。慣れたサービスも次々にネットサー

ビスに置き換えられていく。⑥もはや和魂洋才の戦略は通用しないのである。

(西垣通『デジタル社会の罨^{わな}』原文一部改変)

- 注1 超人間主義者——科学技術を積極的に活用することで、人間の生物学的な限界を超越しようとする立場をとる人。
- 注2 チャットGPT——質問をすると、その意味や目的を理解し、適切な返答を生成するとされるAIサービス。
- 注3 デカルト——ルネ・デカルト。一五九六～一六五〇年。フランスの哲学者、数学者、物理学者。
- 注4 「なめとこ山の熊」——熊捕り名人の小十郎が、熊の言葉や気持ちを解するようになり、商売のために熊を殺さざるを得ないことに葛藤する童話。
- 注5 ヴァレラ——フランシスコ・ヴァレラ。一九四六～二〇〇一年。チリの哲学者、生物学者。
- 注6 オペレーティング・システム——コンピュータのシステム全体を管理・制御するソフトウェア。
- 注7 DX——デジタル・トランスフォーメーションの略語。企業がビジネス環境の変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、業務や組織、企業文化・風土を変革すること。

問一 空欄 A へ D に入る接続詞の組み合わせとして最も適

切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

18

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| ① A だが | B つまり | C そして | D 要するに |
| ② A つまり | B だが | C 要するに | D そして |
| ③ A そして | B 要するに | C だが | D つまり |
| ④ A 要するに | B そして | C つまり | D だが |

問二 傍線部①「和魂洋才」とは、ここではどのようなことか。最も適切な

ものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

19

- ① 日本人が、西洋由来の技術に適応できるよう、民族としての精神性を変え続けていること。
- ② 日本の芸術家が、本当に表現したい心情を隠し、西洋由来の技術を使って創作をしていること。
- ③ 日本人が、昔ながらの精神性を極力維持しつつ、仕事で西洋由来の技術を使用していること。
- ④ 日本において、和風の表現を保とうとする芸術家と西洋を信奉する研究者が並存していること。

問三 傍線部②「ホンモノの詩」とあるが、筆者の考える「詩」とはどのようなものか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

20

- ① 日本人が蓄積してきた各単語のイメージを吟味し、言葉を配したもの。
- ② 肉体の経験のみに依拠し、全ての規範から自由になって語られるもの。
- ③ 先人たちの芸術的創造の歴史を踏まえ、随所に技巧がこらされたもの。
- ④ 人間の身体に根差し、湧き上がるイメージをもつて作り出されたもの。

問四 傍線部③「架橋できるのか」とは、ここではどのような意味か。最も

適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

21

- ① 分析することができるのか ② つなぐことができるのか
- ③ 区別することができるのか ④ 守ることができるのか

問五 傍線部④「そういう命名行為」とはどのようなものか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

22

- ① 身体感覚に基づいて対象を名づけるとき、自身の精神を高揚させつつ、世界の構成をあらたにとらえ直す行為。
- ② 十七字という制約のなかで世界の構成物を名づけ直そうとすること
- ③ 言葉の可能性を最大限に追求する行為。
- ④ 自然を構成する物の命名に没頭するうちに、人間の肉体が自然の世界と調和し、原始的な存在に立ち戻る行為。
- ④ 心身を研ぎ澄ませて対象の命名に取り組むことで、自分もそれを取り巻く世界も、より高い次元に昇華させる行為。

問六 傍線部⑤「本当の原因」とは何か。筆者の考えの説明として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

23

- ① 日本の伝統的な価値観は、少人数で品質を完璧にすることを美徳としており、その作業を外部の人々に委ねる現在のインターネットの考え方とかみ合っていないということ。
- ② 日本のインターネットユーザーの多くが、高品質に仕上げたうえで商品を発売するよう自国の企業に働きかけており、商品の迅速な発売の妨げになっているということ。
- ③ 精度の高さを可能とした日本的なあり方が、たとえ障害を含んでいようといち早く公開することを重視する現在のインターネットの考え方とかみ合っていないということ。
- ④ トップダウンで指令に従うことを好む日本人の国民性が、開発チームに対して間違いを指摘する必要がある現在のインターネットの状況とかみ合っていないということ。

問七 傍線部⑥「もはや和魂洋才の戦略は通用しない」と筆者が考える理由

として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

24

① 現在のデジタル化によって、日本人はさまざまな場面でネットサービスの利便性を享受し、手間暇をかける従来の生活態度を捨て去るから。

② 現在のデジタル化によって、日本人の暮らし方はインターネット中心のものに変わっていき、その影響が日本人の精神性にまで及ぶから。

③ 現在のデジタル化によって、日本人の日常生活は西洋と同一のものとなり、その生活意識もまた西洋人を模倣するようになるから。

④ 現在のデジタル化によって、日本の社会は隅々までボトムアップの方式に作り変えられ、日本人が個々に能動性を発揮するようになるから。

問八 問題文の内容と合致するものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

25

① 日本のデジタル競争力を復興させるためには、少数のプロがシステムを管理するという日本人に合った形態へと回帰する必要がある。

② コンピューター分野において、一九八〇年代までの日本は独創的な研究成果を次々と発表し、米国とともに世界の国々をリードした。

③ DXによって、日本人の価値観が現在のインターネットの価値観に適合していき、デジタル化が加速することが予測されている。

④ インターネットの普及に伴い、システム開発のあり方が日本人に合わなくなっていくことで、日本のデジタル競争力は低下した。

問九 宮沢賢治が書いた作品を、次の①～④の中から一つ選びなさい。

26

① 『風の又三郎』

② 『頭ならびに腹』

③ 『田園の憂鬱』

④ 『ダス・ゲマイネ』

IV 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

「祭^{注1}過ぎぬれば、後の葵^{あひひ}不用^{ふよう}なり」とて、或^{ある}人の、御簾^{みす}なるを皆取
 らせられ侍りしが、色もなく覚^さえ侍りしを、よき人のし給ふ事なれば、
 さるべきにやと思ひしかど、周防内侍^{注2}が、

「I」かくれどもかひなき物はもろともにみすの葵の枯葉なりけり^A

と詠めるも、母屋の御簾に葵のかかりたる枯葉を詠めるよし、家^イの
 集^Bに書けり。古き歌の詞書に、「枯れたる葵にさして遣はしける」と

も侍り。枕草子にも、「来しかた恋しき物、枯れたる葵」と書けるこ
 そ、いみじくなつかしう思ひ寄り^X。鴨長明が四季物語^{注4}にも、

「玉だれに後の葵はとまりけり」とぞ書ける。おのれと枯るるだにこ
 そあるを、名残^ウなく、いかが取り捨つべき。

御帳^{みちやう}にかかれる薬玉^{注5}も、九月九日、菊に取りかへらると言へば、菖蒲^{注6}

は菊の折までもあるべきにこそ。枇杷皇太后宮^{注6}かくれ給ひて後、古き

御帳の内に、菖蒲・薬玉などの枯れたるが侍りけるを見て、「折なら

ぬ根をなほぞかけつる」と弁^{注7}の乳母^{注7}の言へる返事に、「あやめの草は

ありながら」とも、江侍従^{注8}が詠みしぞかし。

(『徒然草』)

注1 祭——京都の上賀茂神社、下鴨神社の祭礼。御簾や牛車^{ぎっしゃ}などを葵で飾る。

注2 周防内侍——平安時代の女流歌人。引用の和歌は『周防内侍集』に見える。

注3 母屋——主人などが住む殿舎の中央にある部屋。

注4 四季物語——鴨長明作と言われていたが偽書。

注5 薬玉——端午の節句に香料などを袋に詰め菖蒲、五色の糸などで飾り柱などにかけた。

注6 枇杷皇太后宮——三条天皇の中宮藤原研子。

注7 弁の乳母——研子の子三条天皇の皇女陽明門の乳母。引用の和歌は、「あやめ草涙の玉にぬきかへて折りならぬねをなほぞかけつる」

(『千載和歌集』)。

注8 江侍従——平安時代の女流歌人。歌人赤染衛門の娘。引用の和歌は、「玉ぬきしあやめの草はありながら夜殿は荒れむものとは見し」

(『千載和歌集』)。

問一 傍線部ア～ウの本文中における意味として最も適切なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ一つ選びなさい。

27 ア「色もなく」

- ① 特別な理由もなく
- ② 葵の色もなくなつたと
- ③ 興ざめなことだと
- ④ もう祭も終わったと

28 イ「家の集」

- ① 兼好が手元に置いている本
- ② 個人の歌を集めた本
- ③ 代々家に伝わってきた本
- ④ 和歌を専門にする家の本

29 ウ「名残なく、いかが取り捨つべき」

- ① 未練もなくどうして捨てることができるだろうか
- ② 名残を残してどうやって捨てたら良いだろうか
- ③ さっぱりといっそ捨ててしまふべきだろうか
- ④ 跡形がないようにどうやって捨てたら良いのか

問二 傍線部①と②の読みを次の各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

30 ①「母屋」

- ① ははや
- ② もや
- ③ ぼや
- ④ ぼおく

31 ②「薬玉」

- ① くすりだま
- ② くすだま
- ③ やくたま
- ④ やくきゅう

問三 二重傍線部 A・B の「けり」の文法的説明として最も適切なものを、次の①～④の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

A 32 ・ B 33

- ① 推量の助動詞の連体形
- ② 詠嘆の助動詞の終止形
- ③ 過去の助動詞の終止形
- ④ 動詞の活用語尾と完了の助動詞の終止形

問四 空欄 X

に入る言葉として最も適切なものを次の①～④の中から一つ選びなさい。

34

- ① たり ② たれ
③ たる ④ たら

問五 「I」の和歌の内容として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ

選びなさい。

35

- ① わが身を恋人から隠しても無意味なのだ、一緒に見ることはない
葵草よ。
② 身を隠していても葵草が枯れるように私の身も年老いてしまうのだな。
③ 葵草はまだ御簾にかかっているが、恋人は離れていき一緒に見る事はないのだ。
④ 葵草を御簾にかけておいても恋人は来ず、葵と一緒にわたしも枯れていくのだ。

問六 波線部 a「弁の乳母」と b「江侍従」のやりとりの内容として最も適

切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

36

- ① 主人を亡くした悲しみに、残された菖蒲にまで八つ当たりしている
弁乳母に、江侍従は部屋が荒れてしまったのは自分のせいで菖蒲に罪
はないとなだめている。
② 主人が死に、季節外れの薬玉がまだ片付けられることもなくかっ
ていることを怒る弁乳母に対して、江侍従はもうすぐ菊に取りかえる
予定であると弁解している。
③ 主人が死んで荒れ果ててしまった部屋を見て、無念に思う弁乳母に、
江侍従は、薬玉は枯れてしまったが菖蒲だけはまだ残っていると
言っ
てなぐさめている。
④ 主人が死んだのに、むなしく根だけが残っていることを泣く弁乳母
に、江侍従も菖蒲は残っているが部屋は荒れてしまったと共に主人の
死を悼んでいる。

問七 問題文の内容と合致するものを、次の①～⑥の中から二つ選びなさい。

37

38

① 祭というものは、最初から最後まで見てみないとその意義はわからない。

② どんな人の栄華も、あつという間に過ぎ去りすべては過去のものになる。

③ 祭であれなんであれ、一番面白いところだけを楽しむと後にはなんともいえない虚しさを感じるようになる。

④ 華やかな行事や美しいものを見ると、それが終わったときに時の移ろいや余韻や寂しさを感じるものだ。

⑤ 祭見物はしっかりと事前に準備をして席を作り、終わった後の余韻まで楽しまなければならない。

⑥ きらびやかなものや、華やかなものは、それが盛りを過ぎた後もすぐに捨て去るべきものではない。

問八 鴨長明の作品を次の①～④の中から一つ選びなさい。

39

① 『無名抄』

② 『宇治拾遺物語』

③ 『枕草子』

④ 『とはずがたり』

国語の問題はここまでです。

令和 7 年度 日本大学スポーツ科学部一般選抜 A 個別方式

問題訂正・補足説明連絡票

試験場本部 御中

入学試験編集委員会

○	受験者に対して、解答はじめの指示前に〔問題訂正・補足説明〕があることを口頭で伝えた上、試験開始直後に下枠の内容を 黒板に書いて ください。読み上げないでください。
	受験者に対して、訂正文を受理後直ちに〔問題訂正・補足説明〕があることを口頭で伝えた上、下枠の内容を 黒板に書いて ください。読み上げないでください。

科 目 国語

訂正箇所 13ページ 大問Ⅳ 下段

設問番号 _____

(訂正前)

注 7 1 行目

・・・皇女陽明門の・・・

(訂正後)

・・・皇女陽明門院の・・・

下線部を挿入

以 上